

週報

2025 年 12 月 7 日

第二アドベント

主日礼拝



〈聖書のみことば〉

ヨハネの福音書 1 章 9 節

「すべての人を照らすそのまことの光が、
世に来ようとしていた。」

第二アドベント 主日礼拝プログラム

- ・前 奏
- ・招 詞 イザヤ 7:14
- ・賛 美 御園 SB こ-1「ここに愛が」
讃美歌 98「あめにはさかえ」
- ・祈 り
- ・月間賛美 みその SB「善き力に我囲まれ」
- ・信仰告白「使徒信条」
- ・聖書朗読 ルカ 1:39～56
- ・宣 教 「主の母の来訪」
丸山悟司牧師
- ・応答賛美 讃美歌 96「エサイの根より」
- ・聖餐式 聖歌 396「十字架のかげに」
- ・12 月誕生者のための祝福の祈り
- ・感謝献金 御園 SB こ-1「ここに愛が」
讃美歌 547「今ささぐる」
- ・頌 栄 讃美歌 542
- ・祝 祷
- ・報 告



【説教要旨】「主の母の来訪」（ルカ 1：39～56）丸山悟司牧師

アドベント第2週目の日曜日を迎えます。アドベント・カラーは、伝統的に紫とされています。受難節のカラーも同じ紫であり、神学的な解釈を加えるのであれば、神である方がその座を捨てて貧しい姿でこの世界に降られた時点で、すでに受難が始まっていたということになるでしょう。みどり子として誕生されるイエスは、十字架に向かって歩を進めていくことになりますが、その母マリアもまた、「神の母」として茨の道を歩いていくことになります。

① 交わりを求めて

主に使いのお告げを受け、それを信仰によって受け止めたマリアでしたが、その後すぐに、親類のエリサベツを訪ねます。それは、自分と似た境遇にあるエリサベツを、良き理解者と考えたからでしょう。エリサベツもまた、神の超自然的な介入によって身ごもり、主の使いによって、生まれてくる子を命名されました。マリアはこのエリサベツのもとに、三か月ほど滞在したと書かれています（56 節）。三日でなく、三週間でもなく、三か月もとどまったということは、それだけに多くの対話がなされ、祈りがなされ、交わりが深められたことでしょう。

② 交わりに支えられて

マリアとエリサベツは似た境遇にありながらも、決定的な違いがありました。エリサベツの胎に宿ったヨハネは、「まだ母の胎にいるときから聖霊に満たされ」（1：15）とありますが、イエスの場合はそもそも聖霊により、人の手を介さずにマリアの胎に宿り、「聖なる子、神の子」（35 節）として、神の本質をまとして到来される方です。それゆえマリアは「神の母」との称号を授けられ、キリスト教の伝統において敬われてきましたが、聖霊により子を宿すという一般には理解されない事実は誤解をも生み、はなはだ蔑視の対象となることは目に見えていました（マタイ 1:19；ヨハネ 8:41）。不安と苦悩を抱えたマリアには、エリサベツとともに過ごす三か月は、交わりから力を得、英気を養って前を向くために必要な期間であったのです。

<報告と案内>

- ★今週 11 日(木)朝 6 時半より 7 時まで「早天祈り会」が教会 1 階にて行われます。
どなたでも参加できます。
- ★交わり宣教委員会で「福音版・クリスマス号(手作り石鹸付き)」を用意いたしました。
宣教のためにどうぞご活用ください。
- ★今週 13 日(土) 13 時半より「こどもクリスマス会」が行われます。祝福のために
お祈りください。
- ★「教会の名入りカレンダー 2026」をお一人 1 枚ずつお持ち帰りください。
「愛」か「良い羊飼い」の二種類から、お好きなほうをお選びください。
- ★明日 8 日(月)、東京地区連合牧師会、地区連合委員会が行われます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<次週の礼拝> 2025 年 12 月 14 日 9 時・11 時

☆シアドベント第三主日 説教者:崔錫允宣教師

ルカ2:1~7

応答賛美:讃美歌115「ああベツレヘムよ」

※今週の「早天祈り会」聖書通読箇所:詩篇 30 篇~36 篇

宗教法人/日本バプテスト教会連合



御園バプテスト教会

牧師:丸山悟司

住所:〒252-0321 神奈川県相模原市南区相模台 2-3-7

電話番号:042-766-0805